

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587050301	科目番号 / Subject code	05870503
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15331_005		
授業科目名 / Subject	グループ・コミュニケーション (コミュニケーションの生物学・臨床医学) / Biology of Animal Communication and Clinical Medicine of Human Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	岡田 二郎 / Okada Jiro, 成瀬 尚志 / Naruse Takashi, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	岡田 二郎 / Okada Jiro, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jokada nagasaki-u.ac.jp (岡田) goro nagasaki-u.ac.jp (田中) akiko0923 nagasaki-u.ac.jp (徳永) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部本館227室 (岡田) 保健学科5階 (田中) 保健学科5階 (徳永)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2762 (岡田) 095-819-7995 (田中) 095-819-7996 (徳永)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 12:10-12:40 (岡田) 月~金 12:10-12:40 (田中) 適宜 (徳永)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ほとんどの動物は、何らかの手段を用いて個体同士での情報のやり取りをおこなっているが、これが現代の人間社会における複雑なコミュニケーションの礎となっている。ヒトを含めた動物では、種特異的な動作、音声、化学物質などのシグナルが送り手から発せられ、それらが受け手の感覚器で受信される。このシグナルは中枢に運ばれ、識別され、次に受け手が起こすべき応答のプログラムが生成され、最終的に返信シグナルが発現する。この一連のプロセスは、必然的に生物学的な意義が存在していて、いずれも脳神経系の機能を基礎としている。また、シグナルの受信から、返信シグナルの発現という一連のプロセスにおいて、その一部の機能が障害されると、そのコミュニケーションは大きく変容する。本講義では、動物とヒトのコミュニケーションについて、その進化、多様性、生理機能、および障害に注目して学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	(岡田) 1) コミュニケーションの生物学的意義を理解し、その進化と多様性について説明できる。 2) 様々な動物におけるコミュニケーションの生理学側面について説明できる。 3) 自主的に学ぶ態度を身につける。 4) 与えられたグループ課題に対して、メンバー間で積極的かつ協調的に解決に取り組み、最善の結論を得るための態度およびスキルを獲得する。 (田中・徳永) 1) 障害をもつ事例からヒトのコミュニケーションの多様な側面を学ぶ。 2) メンバー間で積極的かつ協調的に課題解決に取り組み、最善の結論を得るための態度およびスキルを獲得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	予習課題 (30%)、講義中のグループ課題 (30%) と最終試験 (40%) による。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習を課すことがある。		

キーワード/Key word	(岡田) 行動、進化、多様性、脳神経系 (田中・徳永) 精神障害、発達障害、コミュニケーション
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	LACSに掲載する資料、配布資料等を用いる。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	高校生物や一般書等から、動物の行動と生態、脳・神経系に関する予備知識があると良い。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回(10月4日・3校時)	オリエンテーション:生物のコミュニケーションとは(岡田)
第2回(10月4日・4校時)	動物コミュニケーションとその進化1(岡田)
第3回(10月11日・3校時)	動物コミュニケーションとその進化2(岡田)
第4回(10月11日・4校時)	動物コミュニケーションの生理学的基礎(岡田)
第5回(10月18日・3校時)	昆虫の化学コミュニケーション(岡田)
第6回(10月18日・4校時)	コオロギの音声コミュニケーション(岡田)
第7回(10月25日・3校時)	小鳥の音声コミュニケーション(岡田)
第8回(10月25日・4校時)	オリエンテーション:精神障害とコミュニケーション(田中)
第9回(11月1日・3校時)	うつ病とコミュニケーション(田中)
第10回(11月1日・4校時)	コミュニケーションスキルトレーニング1(田中)
第11回(11月8日・3校時)	コミュニケーションスキルトレーニング2(田中)
第12回(11月8日・4校時)	コミュニケーションスキルトレーニング3(田中)
第13回(11月15日・3校時)	発達障害とコミュニケーション1(徳永)
第14回(11月15日・4校時)	発達障害とコミュニケーション2(徳永)
第15回(11月22日・3校時)	講義の総括・最終試験(岡田)
第16回(11月22日・4校時)	講義の総括・最終試験(田中・徳永)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587050501	科目番号 / Subject code	05870505
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15341_005		
授業科目名 / Subject	グループ・コミュニケーション (音表現とグループ・プロセス) / Music and Group Process		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 小原 達朗, 成瀬 尚志 / Naruse Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 小原 達朗		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11, 学生プラザ1F 多目的室1		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館 5 1 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取ることに)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	音楽やスポーツ (身体活動) は、そのパフォーマンスをパフォーマー自身が演じる中で自己完結するものである。しかし、他者とのかわりにおいて見聞きする対象になり、相互の感性や意志のやり取りが生まれコミュニケーションが成り立つ。 本授業では、音を媒介としたコミュニケーションや身体を媒介としたコミュニケーションの実践について実現象や実践を通して体験し、実生活の中で活用できるようになることをねらいとしている。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の精神性及び身体性の特性を理解し、自己を表現する際に生かすことができる。 ・ 言語的表現を非言語的な表現にイメージし、具体的に行動化できる。 ・ 芸術やスポーツに内在するコミュニケーションの多様な形について理解し、説明できる。 ・ 音や身体を使って思いや意志を相手に伝えることができ、生活場面へ汎化させることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポートなどの提出物 70パーセント 講義時のワークシート 30パーセント		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	コミュニケーション 音楽 身体 スポーツ		

<p>教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book</p>	<p>参考文献</p> <p>『音楽療法士のしごと』 生野 里花 (著) 単行本: 255ページ 出版社: 春秋社 (1998/01)</p> <p>『音楽文化のすすめ?いま、ここにある音楽を理解するために』 小西 潤子 (編集), 志村 哲 (編集), 仲 万美子 (編集) 単行本: 264ページ 出版社: ナカニシヤ出版 (2007/03)</p> <p>『スポーツコミュニケーション』 東海林祐子 (著) 単行本: 187ページ 出版社: ブックハウス・エイチディ (2011/06)</p> <p>『身ぶりとしぐさの人類学』(中公新書) 野村雅一 (著) 単行本: 225ページ 中央公論社 (2002/05)</p>
<p>受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.</p>	
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考(URL)/Remarks(URL)</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>音楽やスポーツの得手・不得手は全く問わない。苦手な方の参加を歓迎する。</p>
<p>授業計画詳細/Course Schedule</p>	
<p>回(日時)/Time(date and time)</p>	<p>授業内容/Contents</p>
<p></p>	<p>1 心はどこにある?...ひとのからだの表現性</p>
<p></p>	<p>2 真似る細胞(ミラーニューロン)...ひとの脳の表現性</p>
<p></p>	<p>3 しぐさに込められた謎</p>
<p></p>	<p>4 サインに込められた意図</p>
<p></p>	<p>5 スポーツの中のコミュニケーション(その1)</p>
<p></p>	<p>6 スポーツの中のコミュニケーション(その2)</p>
<p></p>	<p>7 サインプレーの実践</p>
<p></p>	<p>8 授業の意図と概要</p>
<p></p>	<p>音あそび(アイスブレイク)</p>
<p></p>	<p>カードを用いたグループ作曲</p>
<p></p>	<p>音の風景</p>
<p></p>	<p>音の風景と音楽</p>
<p></p>	<p>共に奏でることについて</p>
<p></p>	<p>踊ることと音楽について</p>
<p></p>	<p>振り返りと講義の総括</p>
<p></p>	<p>受講生による振り返りの発表</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587508101	科目番号 / Subject code	05875081
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グループ・コミュニケーション (出島シャルソン)COC+ / Dejima Cialthon		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	成瀬 尚志 / Naruse Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	成瀬 尚志 / Naruse Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	成瀬 尚志 / Naruse Takashi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	naruse nagasaki-u.ac.jp (を@に変えてください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部新館2階455番研究室		
担当教員TEL/Tel	09578192773 (研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜2限。Eメールも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>近年のSNSの広がりにもなつて、一般の人たちが情報を受け取るだけでなく、情報の発信者となつてきました。そうした中でNPOや市民活動が活発化するだけでなく、様々な「イベント」が企画され実施されています。そうしたイベントの中には、単なる「パーティー」に過ぎないものから、社会的な意義のあるものまで様々です。</p> <p>この授業ではそうした市民の活動の中で「ソーシャルアクション」というものに着目します。ソーシャルアクションとは「楽しいことをするために集まった多様な人たちのアクションが社会課題の解決につながるような活動」のことで、近年注目され始めています。この授業では、ソーシャルアクションの本質について検討するとともに、ソーシャルアクションの事例の1つである「シャルソン(ソーシャルマラソン)」を「出島シャルソン」として実施するための企画案を検討し、外部の方を招いた成果報告会でプレゼンテーションすることで様々な汎用的能力の育成を目指すとともに、社会的課題の解決に向けた現代的な取組みについての理解を深めます。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出島の魅力を再発見し、他者に説明することができる。?D?I 2. ソーシャルアクションについて理解し、出島シャルソンの企画立案にいかすことができる。?E?K 3. 出島シャルソンの企画案を計画的に準備し、効果的に伝えることができる。??A 4. 他者と協働しながら魅力的な出島シャルソンの企画を立案できる。?B?C?F 5. 出島シャルソンの企画の魅力を効果的に他者に伝えることができる。?D 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業後レポート (6点×5回=30点) レポート (30点×2回=60点) プレゼンテーション (10点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業後に予習復習のための課題を知らせます。課題には、ソーシャルアクションの事例調査や、グループでの出島シャルソンの準備などが含まれます。		
キーワード / Key word	長崎県、出島、ソーシャルアクション、シャルソン		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	購入指定する教科書はありません。以下の文献を主な参考書とします。 報告書「地域の課題解決は学生の課題解決能力の育成に?がるか?課題解決型アプローチとソーシャルアクションアプローチ?」 https://researchmap.jp/?action=cv_download_main&upload_id=147365		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	出島エリアへのフィールドワークがあります。
学生へのメッセージ/Message for students	この授業では「ソーシャルアクション」を「楽しいことをするために集まった多様な人たちのアクションが社会課題の解決につながるような活動」と定義とし、現在様々な形で実践されているソーシャルアクションの分類や分析を行ないます。また、ソーシャルアクションの1事例である「シャルソン」の企画を検討することで、出島の魅力を再発見するとともに、ソーシャルアクションの本質の解明を目指します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ソーシャルアクションについての説明。事例紹介。シャルソンの説明。
第2回	グループに分かれて出島シャルソンの企画案の検討
第3回	出島フィールドワーク
第4回	出島シャルソン企画案の検討
第5回	中間成果発表会
第6回	出島フィールドワーク
第7回	出島シャルソン企画案の検討
第8回	成果発表会、振り返り